



あいち水循環再生基本構想と  
水循環再生地域協議会について

- 1 水循環の再生
- 2 愛知県の水環境の状況
- 3 愛知県の水質保全施策
- 4 あいち水循環再生基本構想
- 5 水循環再生のための取組
- 6 流域モニタリング一斉調査

# 1 水循環の再生

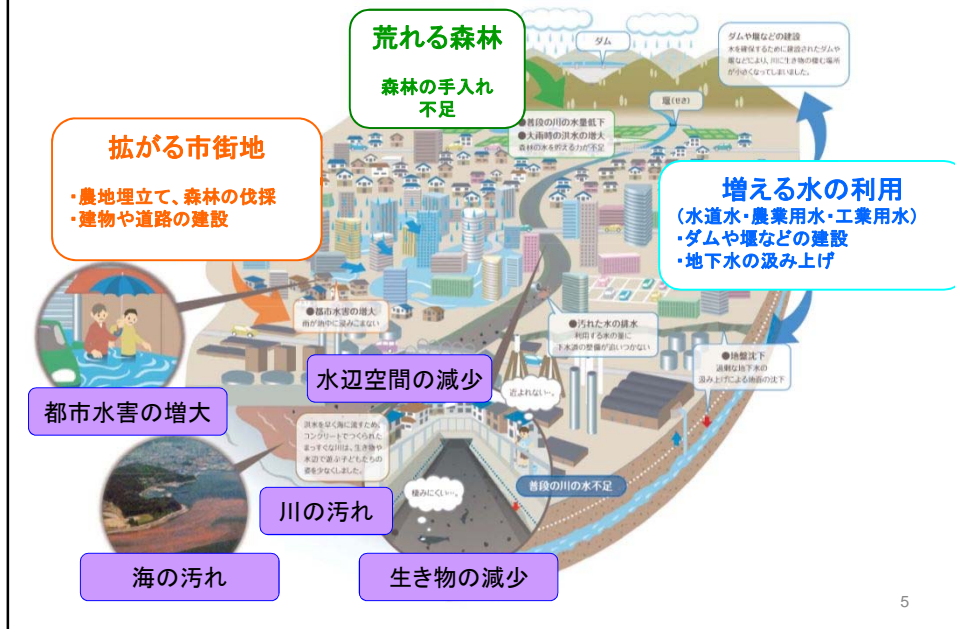
3

## (1) 水循環のしくみ



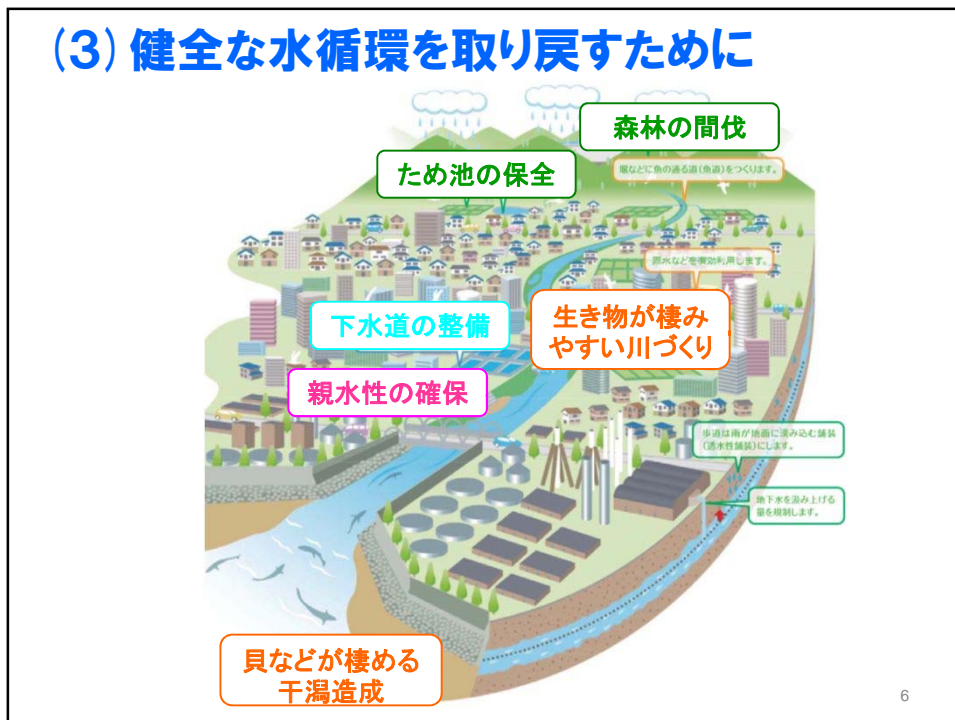
4

## (2) 水循環の問題



5

## (3) 健全な水循環を取り戻すために

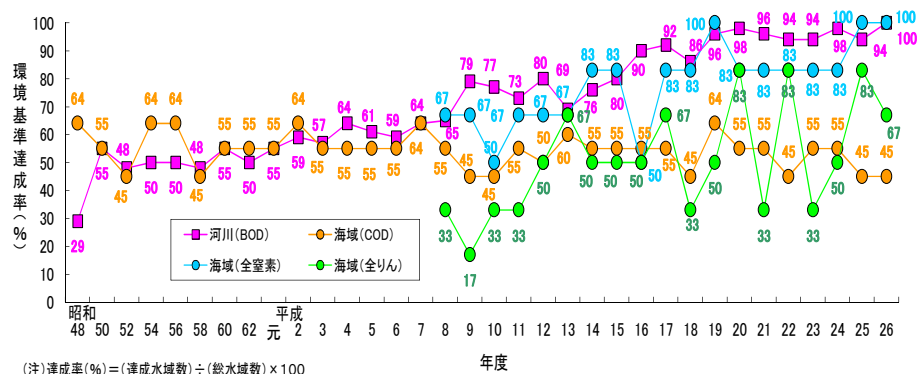


6

## 2 愛知県の水環境の状況

7

### (1) 水質環境基準の達成率(県全域)



(注) 達成率(%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100  
 (資料) 環境部調べ

(注) 達成率(%) = (達成水域数) ÷ (総水域数) × 100

#### <達成率の長期的な推移>

- ・ 河川のBODは改善傾向(ここ数年間は90%以上を維持)
- ・ 海域はいずれの項目も概ね横ばい

8

## (2) 赤潮の発生

**赤潮** プランクトンが異常に増殖し、海や川、運河、湖沼等の色が赤色や褐色に変色する現象。



9

## (3) 苦潮(青潮)の発生

**苦潮(青潮)** 海底付近の貧酸素水塊が、強い風などにより表層に湧き上がり、海面が青色に変色したり白濁する現象。魚や貝の大量死など大被害をもたらすことがある。



10

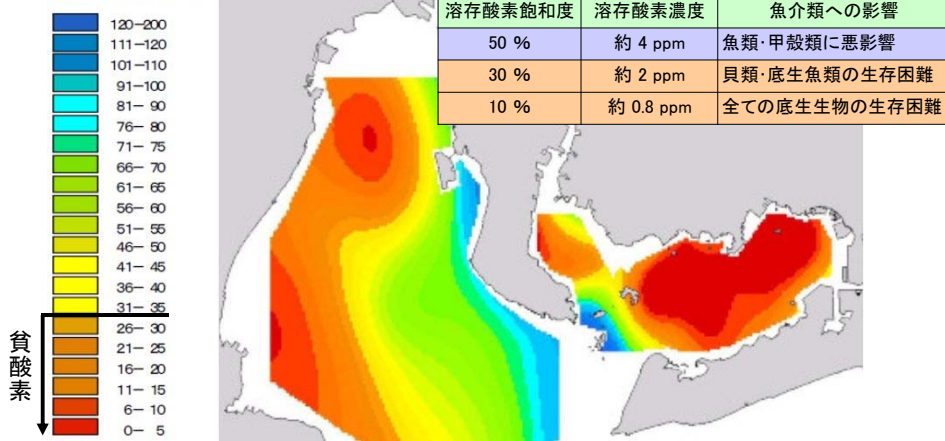
## (4) 貧酸素水塊

### 貧酸素水塊

魚介類が生存できないくらいに溶存酸素濃度が低下した水の塊

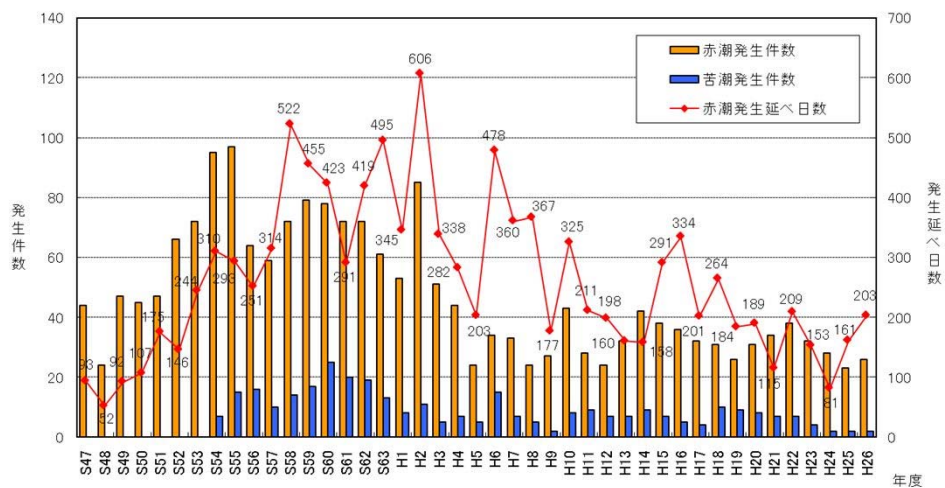
溶存酸素飽和度(%)

県水産試験場では、30%以下の水域を貧酸素水塊と定義



出典：伊勢湾三河貧酸素情報(H27-9,10号) (愛知県水産試験場) 2015年8月3,5,11日調査<sup>11</sup>

## (5) 伊勢湾・三河湾の赤潮・苦潮の発生状況

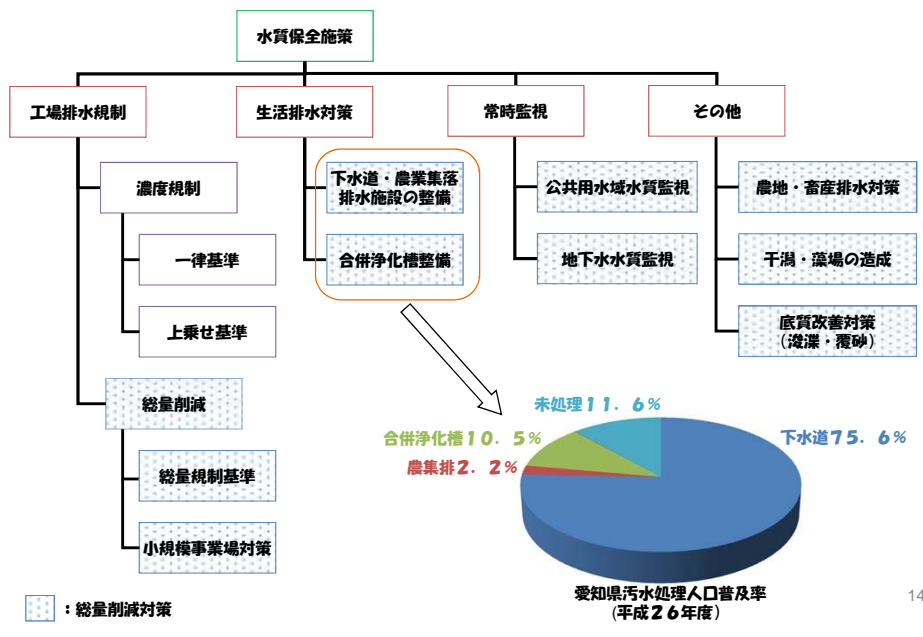


資料：農林水産部調べ

12

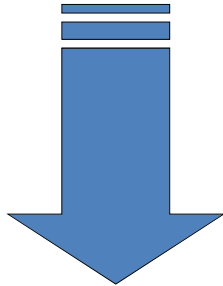
### 3 愛知県の水質保全施策

#### (1) 愛知県の水質保全施策



### (3) 水質保全対策を進める上での視点の転換

場の視点



流れの視点

工場に対する排水規制などの限られた場所や、環境、治水、利水などの限定した側面を捉えて解決を図る取組みを実施する。

上流から下流までの水の流れを考慮し、流域全体で水循環の機能に着目した取組を総合的に実施する。

総合的な視点に立ち、関連した対策の連携や各主体が連携して取り組む。

平成18年3月に「**あいち水循環再生基本構想**」を策定

15

## 4 あいち水循環再生基本構想

16

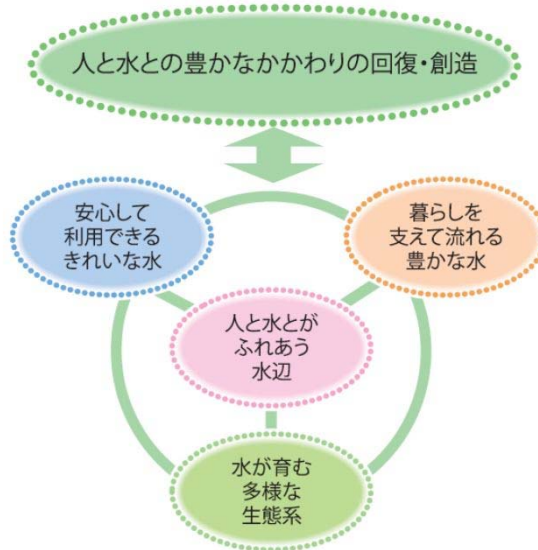


## (1) 基本構想の「目標」と「めざす姿」

【目標】

人と水との豊かなかかわりの回復・創造

【めざす姿】



17

## (2) 基本構想のイメージ

取組

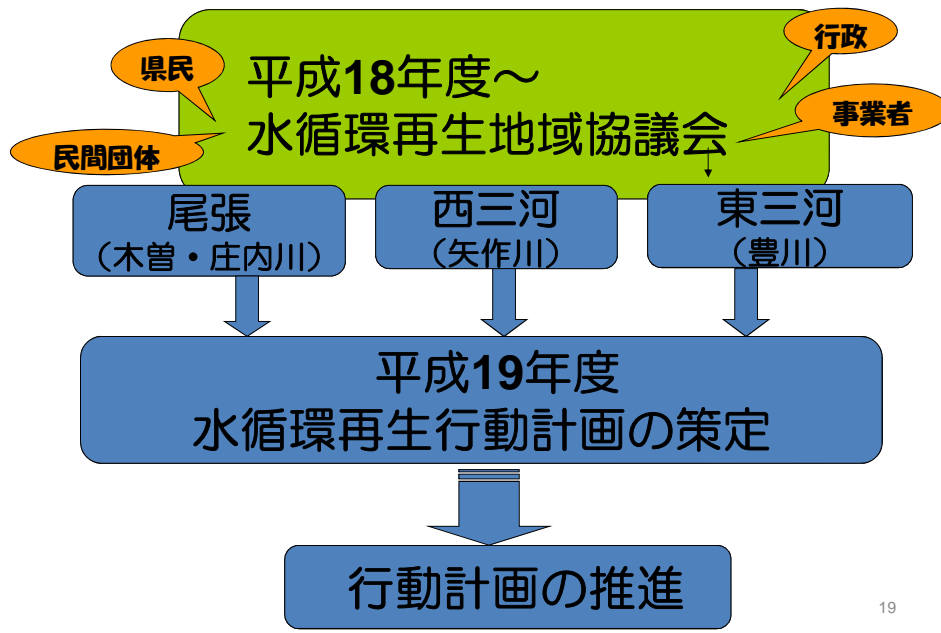
【健全な水循環の機能】

●取組の方向性  
イメージ図



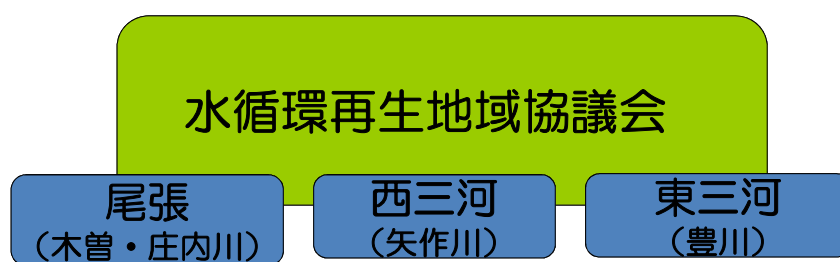
18

### (3) あいち水循環再生地域協議会



19

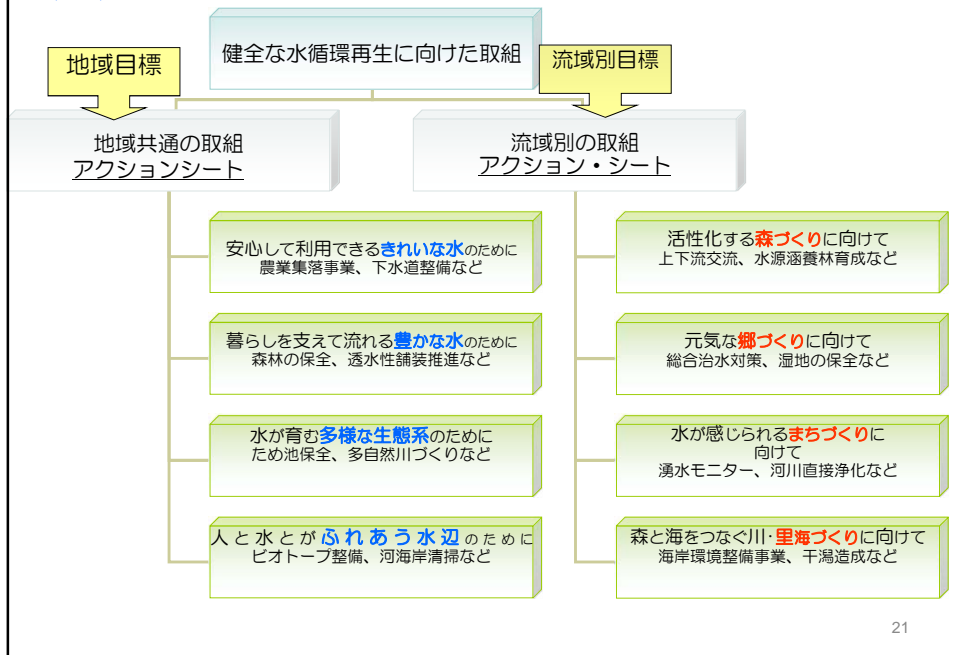
### (4) あいち水循環再生地域協議会



- 平成18年度から3地域ごとに毎年1回開催
- 水循環再生に関する取組・活動状況の総括、取組点検指標による行動計画の進捗確認、事例紹介、啓発活動の報告、構成員相互の意見交換、情報交換など

20

## (5) 水循環再生行動計画の構成



## (6) 現在までの協議会の経緯

- H17年度 水循環再生基本構想 策定
- H18年度 水循環再生地域協議会 設立
- H19年度 水循環再生行動計画 策定
- H20年度 取組点検指標 作成
- H21年度 流域モニタリング一斉調査 開始
- H23年度 水循環再生行動計画 見直し
- H27年度 水循環再生行動計画 見直し

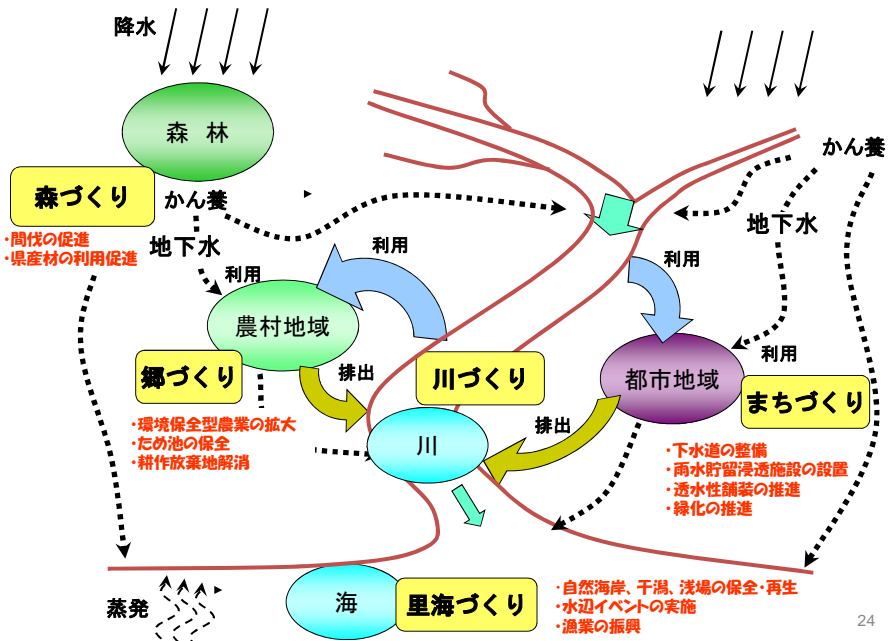
### <毎年度実施>

流域モニタリング一斉調査、啓発活動、  
取組点検指標の集計、行動計画の修正・追加

22

# 5 水循環再生のための取組

## (5) 水循環再生の取組



## 6 流域モニタリング一斉調査

25

### (1) 県民参加の取組

#### 「流域モニタリング一斉調査」

- (1) 水質(きれいな水)  
水の汚れ(CODパックテスト)、水の色、濁り、におい、泡・油膜、水底の感触
- (2) 水量(豊かな水)  
水深、流れの変化、流速、湧水(過去に確認された場所のみ採用)
- (3) 生態系(多様な生態系)  
水質階級(水生生物調査)、魚の調査、  
植生調査(水際、水辺周辺)、  
鳥や昆虫の調査、外来種調査
- (4) 水辺(ふれあう水辺)  
透視度、ごみの状況、  
水辺を利用したいか(親しみ)、  
水辺への近づきやすさ、水辺の自然度、  
水辺景観(心地よさ)  
水辺の活動(①散歩、レジャー  
②環境学習 ③環境保全活動)



26

## (2) 流域モニタリング一斉調査の様子

水生生物の採取



パックテストの実施



透視度の測定



採取した水生生物



27

健全な水循環を再生するためには、  
みなさんが実施している様々な取組を  
長期的に継続して実施し、  
相互に連携していくことが不可欠です。

28